

# 石井としひろの「館山市政かわら版」

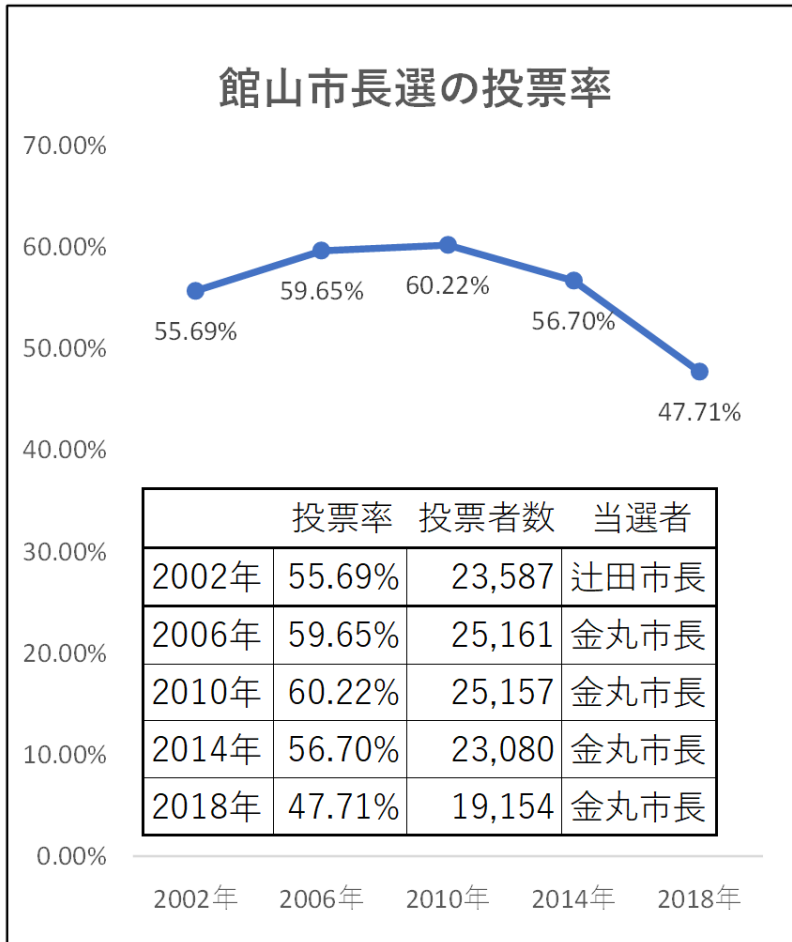
館山市議会議員

## 選挙シーズンが来た！



### 1、市長選挙を考える。

#### ①館山市長選の投票率低下



館山市長選挙ですが、投票率が下がってきています。いくつか原因が考えられます。

- (1) 高齢化が進んで、歩いて投票所に行けない人が増えた。
- (2) 財政難で大きな事業をやる予算も人員もなく、政治的争点が減った。
- (3) 4年前の選挙は極端に投票率が低いのだが、投票したい候補がいなくて棄権した人が出てしまった。また、現職の多選（4選）に対して批判も多かった。

#### ②市長の役割と議員の役割

市長が「予算編成権」を持ち、行政職員を指揮して実務の「執行権」を持つことから、市長が率先して政策を実現していきます。

議員は基本的に市長（行政）の監視（チェック）役になります。非効率を指摘し、不足のことを提案するのです。職員は部下ではありませんし、実務の執行権もないので、民間企業で例えるなら、外部取締役のような感じ。また、「議会」は18人の合議制なので、議員の職権は18分の1に留まります。

一方、市長は行政権の1分の1ですから、単純計算だ

と議員の18倍の職権を持ちます（前述のように職責は違いますが）。ですから、市長職は市政に携わる者の目標でもあります。

#### ③市長選など1人区の選挙の難しさ

定数が18の議員選挙だと、誰かと争うのではなく、自分を売り込んでいく個人戦になります。ですから、本人の努力で8割方当選できます。

一方、市長選など定数が1になると、相手との争いになります。この争いは難しく、自分に近いタイプの候補者が出れば、それだけで自分の支持票は半減します。つまり、勝敗の8割方は「構図」という外部要因で決まってしまうのです。

現職というのは、同タイプはおらず1人だけですから、常に有利です。2021年の全国の選挙結果を見たところ、首長選（市長選など）で現職が勝つ確率は約8割でした。

#### ④市長選挙はお金とマンパワーが必要

	当選	2位	3位	投票率
2018年	11257票	7552票		47.71%
2014年	12344票	10518票		56.70%
2010年	13570票	10336票	1105票	60.22%
2006年	9593票	7956票	7366票	59.65%

市議選だと千票を争うわけですが、市長選だと1万票を争う選挙になります。ですから、マンパワーと費用が必要になります。なお、立候補の時に納める供託金も、市議選だと30万円ですが、市長選だと100万円になるので、様々なことで費用がかさみます。率直なところ、普通の一般人が挑むのは難しいと思います。

#### ⑤市長選に落ちたら市議選に出るのはアリ？

選挙に出たら勝ちだけを考えるのは当然ですが、11月の市長選が終わると、半年後の4月には市議選があります。市長選に落選した場合に市議選に出るのは、賛否両論です。

「選挙の二股は良くない」と言う人もいれば、「議員として活躍して欲しい」と言う人もいます。

また、1度落選しても2回目の挑戦を支持者は期待するものです。だから、候補者は2回出れる力量があることが望ましいのです。

こうしたことを色々考えると、市長選に挑むのは、なかなか難しいというのが現実です。

## ⑥ 市長選挙と市議選を同日選にしたらどうか？

市長選挙と市議選の間隔は6カ月しかないので、議会が自主解散をして、同時に11月の選挙をするのが良いのではないかという案が議員のなかから出てきました。

解散は議員の8割の賛成が必要です。また、市議選の新人候補者にとっては選挙が6カ月早まります。だから、4年間の時間をかけて慎重に検討する必要があります。

南房総市では実際に、市議選と市長選を今年の4月に同日で行っています。市役所の選挙事務が1回で済むので、財政的には1千万円くらいの効果が期待できます。投票率が上がるメリットもあります。

政策は市議選も市長選も同じですし、1回で終わった方が効率的です。なお、これだと市長選と市議選の両方に出ることはできませんから、すっきりします。

## ⑦ 選挙に「移動投票所」を導入できないか

高齢者で投票所まで行けない人が増えていることから、バスなどで地域をまわり、車内で投票ができる「移動期日前投票所」を導入している市町村が全国で徐々に増えています。

私も2011年4月から選挙に出させてもらっていますが、投票に行きたくても行けない高齢者がだんだん増えてきている実感があります。

市議選と市長選を同日にして、「移動バスの期日前投票所」を出せば、投票に行ける人も増えて、投票率も上がるのではないのでしょうか。

相談し合っていました。そして初当選から11年半が経過しました。

## ② 森さんは教育・福祉政策に強い

政策的には、私は住民参加や財政など総務委員会に所属することが多く、森さんは教育・スポーツ・健康などの文教民生委員会に所属することが多い傾向がありました。つまり、森さんは、教育・福祉政策のプロなのです。子ども医療費の助成拡大などの実績をコツコツと積み重ねてきました。

## ③ 人事ポストに無欲な人

また、議会内では議長や委員長になりたがる人が多いものですが、そうした人事に森さんは欲がないことが良く、コツコツと自分の実現したい政策に関してのデータを集め、先進自治体の事例などの調査をしていました。

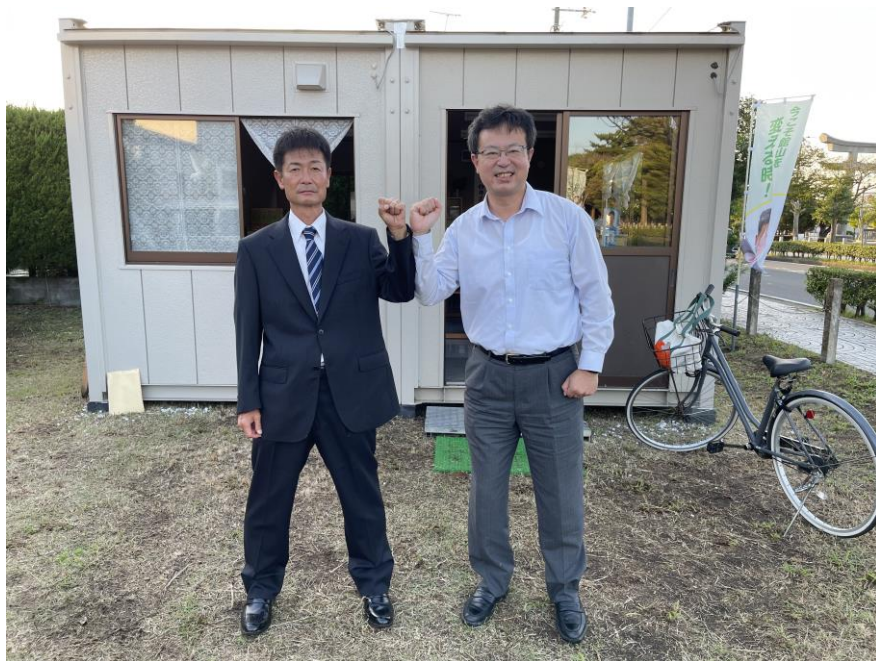
議員というのは基本的に市政の監視役です。一方、市長は政策を主導して実現していく役割です。イチ議員より市長の方が幅広い権限があるので、市政に関わる者にとって市長職は目標でもあります。

## ③ 森さんと一緒に頑張っていきたい

館山市政は財政的にも大変な状況だとは思いますが、私は森さんとこれからも連携を取って頑張っていきたいと思えます。

特に、市民との対話を重視する「市民参加型の市政」を実現したいと思えます。

## 2、議員仲間だった森正一さん



【左は森正一さん、右は私。館山市八幡の事務所前で】

### ① 森正一さんのプロフィール

森正一さんは安房高校の4つ上で55歳。三中出身。私は二中出身。

市議会議員の初当選は2011年4月の同期です。共通の知人も多く、立候補前からの付き合いで、議員になってからも近い立場で活動してきたので、お互いによく

### <お知らせ>

「市政報告&意見交換会」を行います。

**11月5日(土) 南総文化ホール 大会議室**

**時間：10:00～11:30頃**

入場無料・予約不要なので当日、お気軽にお越し下さい。質疑応答と意見交換の時間も十分に設けます。入退室自由ですので、ご都合のつく時間だけでもいらして頂ければと思います。

今回はゲストとして、**森正一**さんも参加してくれます。

### 石井 敏宏 略歴

昭和47年2月 館山生まれ。  
館山二中、安房高、立教大学  
法学部卒業。平成23年4月に  
館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井としひろ 後援会

〒294-0038 館山市上真倉320-2

TEL&FAX: 0470-23-7738

携帯: 090-1557-5515

メール ishiitoshihiro1@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>